

Windows10 MATLAB での Wiimote使用

筆責：鈴木悠介

使用機器

- Windows10 64bitのパソコン
- Wii関連機器 (Wiiリモコン, Wiiボード, Wiiヌンチャク)
- MATLAB2015b 32-bit (Wiimoteは2015b以降の64bit版では動かないで注意)
- Psychtoolbox3.0.11 (Matlab2015b 32-bitに対応している最後のPTB)
- GStreamer0.10- (PTB3.0.11に対応しているGStreamer)
<https://code.google.com/archive/p/ossbuild/downloads>

注意

現状で、MATLABやPsychtoolboxの異なるバージョンがインストールされている場合、PATH設定等で交絡する可能性があるので、

注意してください。

また適宜、現状のMATLAB & PTBでデモを走らせるなどして、使えなくなっていないか確認することをオススメします。

※自己責任でお願いします。

MATLAB2015b 32-bitインストール

- Matlab公式サイト (<https://jp.mathworks.com/downloads/>) から、2015b 32-bitをインストールする
△を押して、32bitのインストーラーをインストール
- インストール時は、適当なtoolboxをインストールしておく

ダウンロード

[よくある質問 \(FAQ\)](#) | [インストールとライセンスのヘルプ](#)[サポートへのお問い合わせ](#)

リリースを選択

- R2021b
- R2021a
- R2020b
- R2020a
- R2019b
- R2019a
- R2018b
- R2018a
- R2017b
- R2017a
- R2016b
- R2016a
- ✓ R2015b**
- [すべて表示](#)

R2015b

MATLAB および Simulink 製品を入手する

! バグ修正とセキュリティ更新があります

R2015b には、バグ修正とセキュリティ更新があります。製品をインストールした後、最新のアップデートを適用してください。詳細については、[バグ レポート](#)を参照してください。

手順 1. インストーラーをダウンロードして実行します

[Windows 用ダウンロード](#)

(91.2 MB)

(14 Oct 2015)

手順 2. 最新のアップデートをダウンロードして適用します

[Windows 用ダウンロード](#)

(251 MB)

R2015b Update 1 を含む

(05 Oct 2018)

R2015bについて

[リリースノート](#)[システム要件](#)

Psychtoolbox3.0.11のインストール

- 公式サイト (<http://psychtoolbox.org/download.html#Windows>) から、インストーラーをインストールする
- SilkSVN Subversionの32bit版をインストールする（必要ないかも）
- GStreamer0.10版をインストールする（後に記述）
- Microsoft Routine Library Visual C++ 2005 Redistributionをインストールする
- MATLAB2015bのカレントディレクトリ（C/Dドライブに"toolbox_32bit"とかを作っとくといいかも）で
下のコードを打つ

```
DownloadPsychtoolbox('D:\toolbox_32bit', 'Psychtoolbox-3.0.11')
```

※ 上記のコードでインストールできない場合は、他工夫するか、SetupPsychtoolboxでインストールや、github等からのインストール方法でもいいかも

GStreamer0.10のインストール

前提として、MATLAB2015b 32-bitかつPTB3.0.11では、GStreamer0.11/1.0以降のバージョンは適合していないため、古いバージョンの0.10版をインストールする必要がある

- Windows用にビルドされたGStreamerが保存されたGoogle Code Archiveから、GPL版のGStreamerをダウンロードする
<https://code.google.com/archive/p/ossbuild/downloads>
- インストール時は、Custom/Entire...でのインストールに注意

PTB:PsychStartUpでのGStreamerの適用

Psychtoolbox3.0.11では、Windows用にビルドされたGStreamerを自動で認識してくれない。

- CまたはDドライブに、"gstreamer-sdk\0.10\x86"フォルダを作成する
- 作成したフォルダにインストールしたGStreamerの内容を移動する
下の画像のようになっていればOK



セス			
	名前	更新日時	種類
セ	bin	2021/10/27 水 8:16	ファイル フォルダー
ス	etc	2021/10/27 水 8:16	ファイル フォルダー
：	lib	2021/10/27 水 8:16	ファイル フォルダー
ス	share	2021/10/27 水 8:16	ファイル フォルダー
セ	COPYING	2009/11/25 水 21:37	ファイル
ス	unins000.dat	2021/10/23 土 0:45	DAT
ス	unins000.exe	2021/10/23 土 0:44	アプリケーション

- PsychStartUpの内容を確認する

```

エディター - D:\toolbox_32bit\Psychtoolbox-3.0.11\Psychtoolbox\PsychInitialize\PsychStartup.m

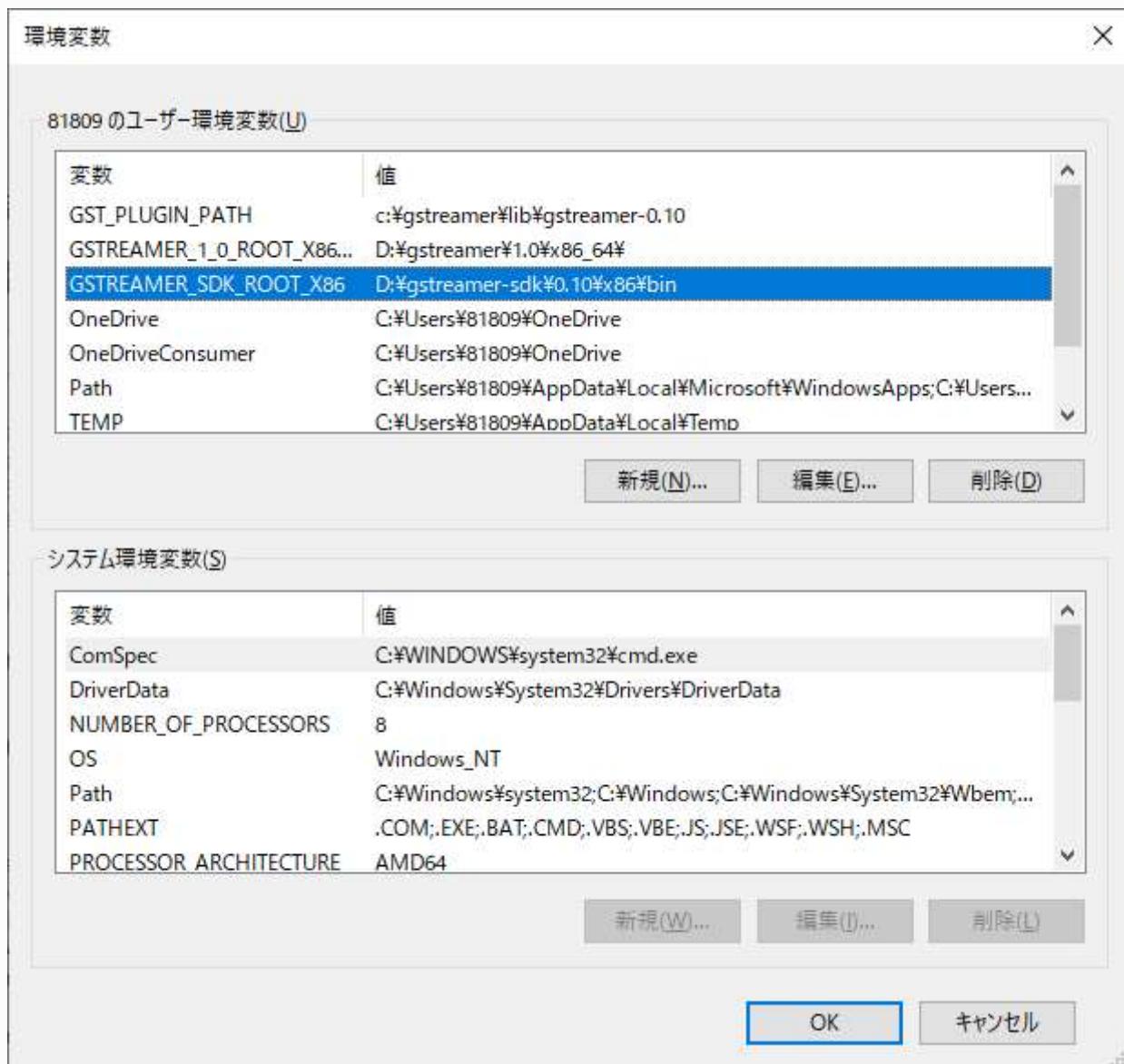
PsychStartup.m + [x]

22 - try
23 - % Setup for MS-Windows:
24 - if IsWin
25 -     % Need to assign a proper install location for the
26 -     % www.gstreamer.com GStreamer-SDK runtime libraries, otherwise
27 -     % use of GStreamer based functions would fail due to unresolved
28 -     % link dependencies:
29 -
30 -     % Find path to SDK-Root folder: Should be defined in env variable
31 -     % by installer:
32 -     if Is64Bit
33 -         sdkroot = getenv('GSTREAMER_SDK_ROOT_X86_64');
34 -         suffix = 'x86_64';
35 -     else
36 -         sdkroot = getenv('GSTREAMER_SDK_ROOT_X86');
37 -         suffix = 'x86';
38 -     end
39 -
40 -     if ~exist(sdkroot, 'dir')
41 -         % Env variable points to non-existent SDK dir. How peculiar?
42 -         % Invalidate invalid sdkroot, so fallback code can run:
43 -         if Is64Bit
44 -             fprintf('PsychStartup: Environment variable GSTREAMER_SDK_ROOT_X86_64 points to non-existent SDK folder?!?\n');
45 -         else
46 -             fprintf('PsychStartup: Environment variable GSTREAMER_SDK_ROOT_X86 points to non-existent SDK folder?!?\n');
47 -         end
48 -         fprintf('PsychStartup: The missing or inaccessible path to GStreamer is: %s', sdkroot);
49 -         fprintf('PsychStartup: Something is botched. Trying various common locations for the SDK to keep going.\n');
50 -     sdkroot = [];

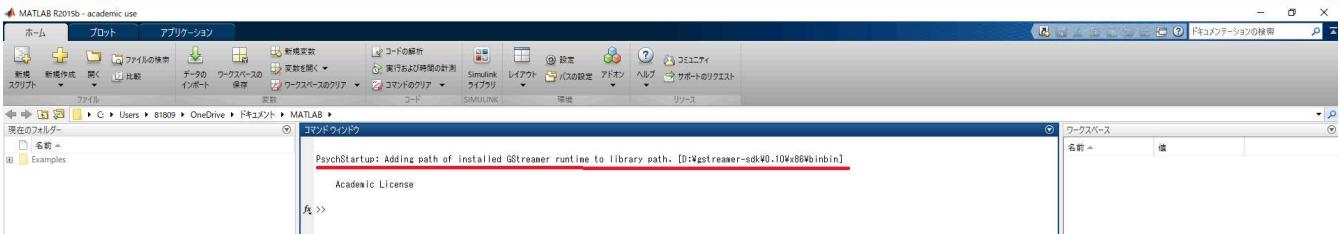
```

32bit (64bitでない)において、sdkrootが"GSTREAMER_SDK_ROOT_X86"になっていることを確認する

- Windowsの環境変数からパスに新たに、"GSTREAMER_SDK_ROOT_X86"を追加する



- 環境変数に新規で、以下を設定する
変数名：GSTREAMER_SDK_ROOT_X86
変数値：C(D):\gstreamer-sdk\0.10\x86\bin
- MATLAB2015bを立ち上げた際に、下の画像のようになっていればOK



- MovieDemo等を動かして、ここまでMATLAB2015b 32bit, PTB3.0.11, & GStreamer0.10 の全てが正常に動いていることを確認する

WiiBoardを接続する

WiiLAB (<http://klab.wikidot.com/wii-proj>) というライブラリを使用する。

ただし、以上に書いたように対応するMatlab/Psychtoolboxのバージョンに制約あり。

※Macでは動作しない

※ここまでにMatlab2015b 32-bit版/Psychtoolbox3.0.11がインストールされていることを確認

WiiLABのインストール方法

- <http://klab.wikidot.com/wii-proj>から、WiiLab_2007aCompat.zipをインストール
- zip ファイル内の WiiLAB_2007aCompat -> WiiLAB_Matlab -> WiimoteFunctions -> @WiimoteにあるWiimote.mを開き、
310 行目の buttons = の行から boolean を削除し、buttons = wiimote.wm.GetButtonState(); とする
431 行目の buttons = の行から boolean を削除し、buttons = wiimote.wm.GetNunchukButtonState(); とする
- WiiLab_2007aCompatフォルダに移り、InstallWiiLabを右クリック「管理者として実行」。これによって、CドライブのProgram FilesにWiiLABというフォルダができる
- C:\Program Files\WiiLABを開き、その中にある3つのフォルダ（WiiLAB、WiiLAB_Matlab、WiiLABTest）を手動で削除する
- 展開したWiiLab_2007aCompatの中から、WiiLABとWiiLAB_Matlabの2つのフォルダを、
C:\Program Files\WiiLABの中にコピーする
- 再度、InstallWiiLabを右クリックして「管理者として実行」。背景が黒のウィンドウで「型は正常に登録が解除されました」というメッセージが出ていれば、インストール成功

PCとWiiBoardの接続

コントロールパネル->ハードウェアとサウンド->デバイスとプリンターから、デバイスの追加をクリック

WiiBoardの裏（電池パック）にある赤いSyncボタンを押し、パソコンと接続する
接続できたら、'Nintendo RVL-WBC-01'のプロパティ->ハードウェアが、Bluetooth HID デバイスになっていることを確認

※もしHIDデバイスになっていなかったら、もう一度接続を繰り返す

また、この手続きはPC起動後、毎回行う必要あり

% パス設定

```
addpath C:\'Program Files'\WiiLAB\WiiLAB_Matlab\WiimoteFunctions  
addpath C:\'Program Files'\WiiLAB\WiiLAB_Matlab\EG111-H  
global bb;
```

% WiiBoardの接続

```
bb = Wiimote();  
bb.Connect(); % balance board  
  
if bb.isConnected() > 0  
    tic  
    while toc < 10  
        tmp1 = bb.wm.GetBalanceBoardSensorState()  
        tmp2 = bb.wm.GetBalanceBoardCoGState()  
        pause(0.5); % ここで値は適当  
    end;  
end;  
bb.Disconnect();
```

上のデモプログラムが正常に動けば、tmp1に4つのセンサーにかかる圧力、tmp2に重心位置のx/y positionの値が出力される

